

平成 29 年度 京都市立伏見工業高等学校 学校経営方針

【教育目標】

憲法・教育基本法に則り、職場・地域・家庭でのたくましいにない手として、自らの未来を豊かにきりひろく力を育て、すこやかな心身の発達をはかるため、次の目標をかかげてその実現をめざす。

① 基本的学力

自然や社会についての正しい知識を基礎に、生産・生活に対する専門的な知識や技術の基本を身につける。

② 基本的人権

生命・基本的人権を尊重し、いかなる差別や暴力も許さない力を身につける。

③ 基本的生活習慣

自らの問題を自らの力で解決する力を養い、友情と連帯を育成しつつ、民主的集団規律を身につける。

④ 労働観

労働を尊ぶ正しい考え方や態度を身につける。

【学校経営方針】

①「豊かな人間性」の涵養

ア. 美しい清らかな心と高い志を持ち、科学技術で社会の発展に貢献できる人材を育成する。

イ. 相手を思いやる豊かな心を持ち、常に謙虚な姿勢を持ち続ける人材を育成する。

ウ. 社会規範を遵守させるとともに、挨拶や清掃の励行、交通マナーの向上に努めさせるなど基本的生活習慣を確立させ、社会性を培う。

②「主体的・対話的で深い学びにつながる学習意欲」の育成

ア. 観点別評価を踏まえた PDCA サイクルを実践、教科指導方法の工夫、授業改善などを行い、生徒に学習に対する興味、関心をもたせ、知識・技能の定着をはかる。

イ. 研究授業などでアクティブ・ラーニングなどの有用な指導方法の情報交換を積極的に行い実践する。またプロジェクト型学習スタイルを取り入れることにより、課題設定や解決する力を養い、生徒の自学自習力を育成する。

ウ. 授業だけでなく、経営者や科学技術者の講演やディスカッション、産官学連携した教育活動を通して、学びの有用性を実感し生徒の学習意欲を高める。

エ. 加速度的に変化するグローバル社会に柔軟に対応する科学技術者を育成するため、最新の施設設備を活用し、様々な分野の人材と協働して課題解決力・実践力を身に付ける。

オ. 関連性の高い Science（科学）Technology（技術）Engineering（工学）Mathematics（数学）の領域を一体的に学ぶとともに、Art（芸術）を加え STEM+A 教育を推進する。

③「地域に愛される学校づくり」の推進

ア. 地域と連携した体験活動やボランティア活動を有効に活用し、地域産業を担う人材を育成する。

イ. 開かれた学校として教育活動等の最新情報を積極的に外部にホームページ等で発信する。

ウ. 本校の教育活動について、教職員による自己評価や生徒・保護者による学校評価アンケートを実施する。そして、その結果を学校評議員や関係者に公開するとともに、目標の達成状況や取組状況等について検証を行い、継承する京都工学院高校の教育活動に役立てる。

エ. 施設・設備の点検を定期的・日常的に実施するとともに、不審者の侵入や自然災害などに適切に対応できるよう危機管理体制を整備し、生徒の安全・安心な学校生活の保障と地域の信頼に応える学校づくりに努める。